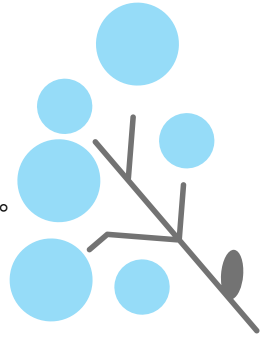


私は・・・昨年、大学を定年退職し、職業としての科学から引退しました。

“環境”を意識してきたため、総合的、包括的、あるいは俯瞰的に世の中の事象を眺める習慣が身につき、専門分野を深めるというよりは視野は広いが浅い人間になったようです。

今回は、現役時代に関わっていたいくつかの環境問題や社会運動を題材として、環境に関わる課題における科学の役割と、少子高齢化、低成長の局面に入った日本における科学者・技術者の役割について私見を述べたいと思います。



—— 特別講演会 (一般公開) ——

「人・自然・社会の関係を整える 職業科学と市民科学」

千葉大学名誉教授
近藤 昭彦



【講師紹介】

千葉大学理学部地学科を1980年に卒業。筑波大学地球科学研究科で学位を取得後、筑波大学文部技官、東京都立大学地理学教室助手、筑波大学地球科学系講師を経て、1995年千葉大学環境リモートセンシング研究センター助教授、2004年同教授、2023年3月定年退職。専門は、地理学・水文学ですが、環境に関心を持ち、環境学のあり方を考え続けている。

(参照：<http://www.llsci.net/>「近藤昭彦の部屋」)

日時 5月25日(土) 13:30~15:00 (受付開始13:00)

会場 千葉商工会議所 第2ホール (14階)

千葉市中央区中央2丁目5-1 TEL:043-227-4103

5月15日(水)締切/定員：先着順60名/無料

《申込方法》

必要事項を記入の上、下記までお申し込みください

①氏名((フリガナ) ②住所(市町村名のみ) ③電話番号 ④所属

✉ miyako_sato_1205@yahoo.co.jp (佐藤)

主催：NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会

